

地域が支える
舟渡小の教育

令和7年10月発行
No.96号



HP開設
学校も町も
行事日程を
全部載せます！

板橋区立舟渡小学校 学校支援地域本部

学校支援ボランティア情報

地域コーディネーター運営委員 広報担当

4年生 ものづくり授業

昨年度のICS委員会の熟議で、子どもたちに舟渡ラーメン以外の舟渡を学ぶ学習の一環として、「ものづくり」を体験できないかと、4月に小峯先生と一緒に第一硝子株式会社様へ協力をお願いに伺いました。

子どもたちに「ものづくり」の体験させたいという漠然とした願いでしたが、一緒にアイデアを出し合いながら話し合いを重ね、9月9日の学校公開の日に第一硝子株式会社様をゲストティーチャーとしてお招きして、4年生が「ものづくり授業」を5.6時間目に公開しました。

5時間目は事前に先生方が工場見学したものをスライドにまとめ、第一硝子様にお話をいただきました。

6時間目は子どもたちが第一硝子様から無償提供していただいたリサイクルガラスを使って工作をしました。

自分で選んだガラス瓶に、貼って剥がせるシールを貼るというシンプルなものですが、実際にガラス瓶を手にとるとどんどん新しいアイデアが浮かんできて、みんな夢中になって制作していました。第一硝子様が大切に作られたガラス瓶が、子どもたちの手により思いのこもったガラス瓶に変化しました。改めて地域とのつながりの強さを感じました。

最後になりましたが、担当してくださりました井上様、松田様、第一硝子株式会社の方々の皆さま、ご協力いただきまして本当にありがとうございました。
(地域コーディネーター 植草 真理子)



6年生 志村第五中学校授業参観



舟渡小学校と志村第五中学校は学びのエリア小中連携校になっています。その中で中学校進学に向けての準備をしておこうと中学生の授業を参観する交流をしています。

9月18日5時間目、担当の先生より諸注意等を聞いてから、体育館では跳び箱、理科室では7年生の授業、国語、社会、数学、英語、音楽室では合唱発表会の練習等全ての授業が参観でき、50分間様々な授業を参観することができました。私語を慎む、教室の出入りには一礼することもきちんと守られていて、普段の6年生より少し大人のような顔が見られた場面もあって、6年生にとっては中学生

になるイメージをもつことができたのではないのでしょうか。残り5ヶ月となった小学生生活ですが、卒業の日まで元気で仲良くたくさんの経験を積みながら過ごしてほしいものです。

(地域コーディネーター 山崎 洋子)

4年生 リサイクルプラザ見学

まだまだ暑い9月19日に、4年生の子どもたちと土手治いにある板橋区リサイクルプラザに見学に行きました。まず最初に、3階にある大きな部屋に3クラス全員が集められ、リサイクルプラザの担当の方がこれからのことを説明してくれました。①処理ゾーンの見学②1階のリユース品販売所、2階のラウンジフロアの見学③3階の部屋でリサイクルプラザについてのビデオをみる、をそれぞれのクラスでローテーションしました。たくさんメモを取りながら、説明して下さっていた担当の方に質問し、あっという間の1時間でした。「今度はお父さんとお母さんと一緒に来よう!」「リユース品販売所で買って来よう」「ゴミを減らしたり、ゴミの分別頑張ろう」と話しながら、土手を歩いて帰りました。いろいろなことをリサイクルプラザで吸収した子どもたちの顔は、来た時とは少し変わっていたように感じました。(地域コーディネーター 江藤 陸実)



用っ子クラブ PBカップ体験



ペットボトルカップはスウェーデン生まれのカップという新を使用したニュースポーツを元に手軽に誰でもできるように板橋区が考案したニュースポーツです。

ブルーシートで作ったコートにカストピンナと呼ぶ 35cm 位の長さのゴムホースを投げてペットボトルを倒し得点を競う競技です。(ルールは板橋区スポーツ推進委員協議会 HP 参照)

1年生～6年生までのたくさんの児童が楽しみながら体験してくれました、また機会がありましたら他のニュースポーツなども体験してもらいたと思います。

(舟渡地区スポーツ推進委員 松井 将一)



1年生 朝顔リース



朝顔の鉢は夏休み中観察と水やりを行うため、自宅に持って帰っていました。そして、夏休みが終わり子どもたちの丹精込めた朝顔が元気にツルを伸ばして学校に帰ってきました。夏休み中に朝顔の花がたくさん咲いた様子が、種もたくさんできていたのでわかりました。9月1日から朝顔のツルでリース作りの準備に入り、鉢のツルがマシュマコの姿になっているものを1本ずつ絡んだものを外し、葉を落とし、ツルのみの姿に戻し、自然な

流れになるようにまき直しを行いました。今年の朝顔は、元気がよくツルが非常に長いと感じました。1鉢に掛かった時間が平均50分から60分となりましたが、9月25日当日は朝7時から残る5鉢のツルをカットし、どうにか1時間目の作業に間に合い安堵。子どもたちに鉢の状態からツルの外し方、リース作りの手順を説明し、1年生のお母さま方10名と協力して3クラス無事に終了しました。これはリースキットのようですね、と話題になり出来上がりに子どもたち、先生方、そしてお母さま方も笑顔になっていたことで、私は安心しました。

(地域ボランティア 増山 新一)



6年生 調理実習



9月下旬から10月上旬まで6年生の料理実習の時間がありました。1度目はハムと野菜炒め、2度目はスクランブルエッグを作り、地域や保護者の方々にお手伝いをお願いしました。全員ではありませんが、ご感想をいただきました。

・みんなで協力しながら楽しく作っていて、味もとても美味しかったです。

(4年・1年保護者 岩本 奈津子)

・ある男の子の手伝いをしようとしたら、自分でやると言ってみんなで協力してやっていました。私に食べて欲しいと作ってくれたスクランブルエッグはとても美味しかったです。

(地域ボランティア 田中 豊子)

・班の中で、料理経験のある子がお友達に丁寧に教えている姿が印象的でした。ハム野菜炒めとスクランブルエッグ、とても美味しかったです。

(5年・2年保護者 増川 夏子)